

令和7年度 自己点検評価表

熊本デザイン専門学校

本評価は、本校の教育理念・目標に照らし、教育活動、組織・運営、ならびに施設・設備の状況について自ら点検・評価し、結果を公表することにより、組織的かつ継続的な改善（PDCAサイクルの推進）を図ることを目的とします。

学生が質の高い実践的な職業教育を享受できる環境を整備するとともに、関連企業や地域社会、保護者等への情報公開を通じて、社会に対する説明責任を果たします。また、客観的なエビデンス（根拠資料）に基づいた透明性の高い内部質保証の体制確立を目指します。

各評価項目について、以下の3段階で評価を行います。

評価3：基準を上回り、特筆すべき取組等を行っている場合

評価2：基準をおおむね満たす場合

評価1：基準を満たしておらず改善が必要な場合

（※評価が「1」または「2」の場合はもちろんのこと、「3」の場合であっても、さらに質を高めるための「課題及び今後の改善方策」を各項目の定性的評価欄に記述し、継続的な改善に努めます。）

【項目1】 教育理念・目的・目標

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 教育理念、目的及び目標の設定等	教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	3	学則、学生便覧（STEP）、HP、学校案内パンフレット

①状況説明

【教育理念】	本校の三綱領である「真心」「創造」「調和」を教育理念の根幹におく。
【養成する人材像】	時代を生き抜く「高い専門性」と「豊かな人間力」を兼ね備えた人材。常に先を見通す論理性や人間の機微がわかる感性を養い、総合力に富む真の意味で社会に貢献できる人材。

②課題及び今後の改善方策

AIをはじめとする技術革新の動向を学校として敏感に捉え、教育内容に積極的に反映していくことが求められる。社会・就業環境の変化が不透明な現状において、全職員が情報を共有し、本校の教育のあり方や学生の将来について組織的に論議できる場を継続的に設けていく。

③特記事項（優良な取組等）

卒業生や連携企業からの意見をもとに教育目標の妥当性を定期的に検証するとともに、AIを活用した学習支援システムの導入など新技術を実践的に取り入れ、理念と実務、時代の変化の両面に対応した教育環境の整備を継続的に進めている。

【項目2】 教育課程、教育の実施、学修成果

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 教育課程の編成と授業科目	学校の目的・目標及び人材像を実現するため、教育課程編成・実施方針を作成した上で、単位制に基づき体系的に編成し、系統性に配慮した授業科目を配置していること。 （※施行前入学者は授業時数での対応も可）	3	シラバス、カリキュラム表、教育課程編成委員会議事録

2 教育の実施	①授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	3	シラバス、カリキュラム表、学生便覧（STEP：成績評価に関する規定）、成績管理表
	②企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等（以下「実習・演習等」という）の授業を行っていること。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位時間または単位数の総授業時数に占める割合を具体的に設定していること。（職業実践専門課程）	3	シラバス、カリキュラム表、職業実践専門課程別紙様式4
3 単位・卒業認定	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	3	学生便覧（STEP：進級基準・卒業基準）、成績証明書、卒業判定会議資料
4 学修成果目標の達成状況	卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。）についての目標を定め、その目標が達成できていること。	3	シラバス、学生便覧（STEP：成績評価基準）、成績証明書、学生ポートフォリオ
	学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	3	求職登録票、就職活動報告書、就職実績一覧表

①状況説明

教育課程は、教育理念および育成人材像に基づき、体系性と段階性を考慮して編成している。授業は講義・演習・実習等を適切に組み合わせ、シラバスを通じて授業目標・到達目標を明示して実施している。職業実践専門課程においては、企業・業界との連携を重視し、教育課程編成委員会を年2回開催して実務的教育内容を反映させている。成績評価は成績評価基準に基づいて行い、進級・卒業判定も明確な基準に則って実施。キャリア教育・資格取得指導・インターンシップなども体系的に位置付けられている。

②課題及び今後の改善方策

習熟度に差のある学生への対応が個々の教員に委ねられがちな現状を踏まえ、担任・授業担当・就職指導担当が情報を共有し、組織的に学習支援にあたる体制の整備を進めたい。就職実績では熊本県内はもとより九州各県・首都圏の企業への関係と情報交換の強化をさらに行う必要がある。

③特記事項（優良な取組等）

AIを活用した学習支援システム「Monoxer（モノグサ）」を導入し、学生一人ひとりの習熟度に応じた個別最適な反復学習を実現した。自動出題・進捗管理機能により、教員の指導負担を軽減しつつ、学習継続率と資格取得率の向上に寄与している。

【項目3】学生の受入れ学生支援

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 学生募集及び入学者の選抜、 収容定員の管理	①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、可否を決定していること。	3	募集要項、HP、学校案内パンフレット、入学者選考結果
	②学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っていること。（修学支援新制度機関要件の確認）	3	学則、募集要項、HP、学校案内パンフレット、修学支援新制度確認申請書、学校基本調査（過去3年分）

2 自主的な学習の促進に対する支援	学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取り組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。	3	シラバス、入学前教育資料・課題、入学前アンケート
3 多様な学生に対する支援	①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること。	2	HP、学生便覧（STEP）、教室配置図、社会人等支援制度資料、
4 学生生活に関する支援	①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	2	クラス担任表、各種相談窓口の案内、指導報告書
	②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	3	学生便覧（STEP）、指導報告書
	③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。	2	学校保険計画、定期健康診断記録、外部健康相談窓口の案内
	④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	3	募集要項、修学支援制度新制度の案内、奨学金説明会資料
	⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	3	シラバス、学生便覧（STEP）、キャリア行事要項

①状況説明

募集要項・パンフレット・HP等で受験資格や選考基準を明示し、入学予定者には入学前教育のオンデマンド学習を実施している。学生支援面では、担任制による学修・生活・就職指導の体制を整え、各種相談窓口を通じて心身のケアを行っている。奨学金・学費支援制度の案内も充実し、退学防止のための面談や保証人との連携も継続している。

②課題及び今後の改善方策

入学後早期における不適応・悩みの把握が遅れがちな現状を踏まえ、担任による定期面談の頻度向上や、異変を早期にキャッチする仕組みづくりを進めたい。就職について企業とのコンタクト強化を引き続き実施する。

③特記事項（優良な取組等）

担任が学修・生活・就職の各側面から学生を継続的に把握し、関係部署と連携しながら個別支援にあたる体制を整えている。卒業生が企業で高く評価されているという声が届いている。

【項目4】教育実施組織・教員員

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 教員の配置、募集、採用	①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用していること。	2	学則、教員求人票
	②教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。	3	教職員名簿、実務経験者一覧、時間割、授業アンケート結果
2 教員の組織編制等	①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	2	教職員名簿、実務経験者一覧、校務分掌一覧

3 教員の資質の向上	①学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	2	研修報告書
	①-2特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っていること。（職業実践専門課程）	3	職業実践専門課程別紙様式4、研修報告書
	②教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること。（職業実践専門課程）	3	職業実践専門課程別紙様式4、研修報告書

①状況説明

教育課程を実施するために必要な資格・実務経験を有する教員を配置し、教員組織を体系的に整備している。採用基準を明確に定め、常勤・非常勤のバランスを考慮した体制を維持している。講師会や教職員会議を定期的実施し、授業改善や学生対応について情報共有を行っている。職業実践専門課程においては、企業と連携した授業を実施し、実務に即した指導力向上を図っている。

②課題及び今後の改善方策

専任教員の実務力を維持・向上するため、企業との連携による取組をさらに拡充することが課題である。一方で、教員の負担増とならないよう、ITツールやDXの推進により業務効率化を図り、連携活動に充てる時間を確保していく。経験豊富な教員のスキルを活かしつつ、新しい教員体制の構築が必要。

③特記事項（優良な取組等）

教職員一丸となって前向きに日々の業務に取り組んでいる。教員一人ひとりが専門分野の最新動向を把握し、指導力向上に努める機会として、資格取得、外部研修への参加や学内での研究・研鑽活動を奨励している。

【項目5】教育環境

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 教育環境の整備	①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	3	専修学校設置認可申請書、教室配置図、施設・設備一覧
2 安全対策、防災組織	①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	3	学校安全計画、危機管理マニュアル、施設・設備点検一覧
	②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。	2	学校安全計画、危機管理マニュアル、消防用設備点検報告書、防災訓練実施記録
3 施設・設備等の点検、改善等	①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。	2	各種設備の定期点検票、補修・修繕の記録
	②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。	2	中期事業計画書、補修計画書、補修・修繕の記録

①状況説明

教育活動に必要な施設・設備を適切に整備しており、教室・実習室は授業内容や学生数に応じて配置している。専門機材や学習用ソフトウェアも定期的に更新し、清掃業者による定期清掃と学生当番制の併用で学内環境を維持している。

②課題及び今後の改善方策

校舎・建築設備の補修・修繕については、現状では障害発生時の随時対応にとどまっている。今後は修繕積立を含む中長期的な補修計画を策定し、突発的な対応から計画的・予防的な維持管理へと転換を図る。

③特記事項（優良な取組等）

清掃業者による定期清掃と学生当番制・担任による教室の衛生管理を組み合わせることで、学習環境の衛生・美化を継続的に維持するとともに、学生の環境意識の醸成にもつなげている。

【項目6】教育活動の基盤と改善・向上の取組

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 中期事業計画と財務基盤	①当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。	3	中期事業計画書
	②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	3	事業報告書、財産目録、貸借対照表、資金収支計算書
2 学校運営	①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること（職業教育に関するマネジメント（教育の企画・設計・運営等）における責任体制を含む。）。	3	理事会会議規則、理事会・評議員会議事録、学校運営規定、教育課程編成委員会議事録
3 学校評価の実施と改善活動	①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。	3	学校関係者評価委員会議事録、教育課程編成委員会議事録、自己点検評価表、HP
	①-2特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること。（職業実践専門課程）	3	年間ターム表、教育課程編成委員会議事録、職業実践専門課程別紙様式4
	②学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	3	HP、職業実践専門課程別紙様式4、学校関係者評価委員会議事録
	③学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的にやっていること。	3	学校評価フローチャート、学校関係者評価委員会議事録
4 社会からの理解と情報の公表	①当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	3	HP、職業実践専門課程別紙様式4、学校案内パンフレット
	②教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得よう取組んでいること。	2	HP、SNS、卒業制作展

①状況説明

中長期的な事業計画に基づき、教育目的・教育目標の実現に向けた具体的方針を策定している。学校運営は組織図・規程に則り、理事会・評議員会を通じて適切に実施されている。学校評価および関係者評価を毎年実施し、結果を公表するとともに改善計画を策定している。また、情報システムの導入により、校務・成績・出欠等のデータ一元管理を進めている。

②課題及び今後の改善方策

学校評価・関係者評価の結果を改善計画に反映させる仕組みはあるものの、改善状況の追跡・検証が十分でない。今後は評価結果ごとに担当部署と期限を明確にした改善計画を策定し、次回評価時に進捗を確認・報告する仕組みを設けることで、PDCAサイクルを実効性のあるものとしていく。

③特記事項（優良な取組等）

社会に活かせるデザインを企業や自治体と実施しており、さらなる発展と継続を目指す。高校生向けの地元情報誌に本校の活動や実績を掲載しPRしている。